



平成 28 年 11 月 10 日

各 位

会社名 中外 鉱 業 株 式 会 社  
 代表者名 代表取締役社長 芳賀 一利  
 (コード番号 1 4 9 1 東証二部)  
 問合せ先 IRセンター室長 桜庭 勲  
 (T E L . 03 - 3201 - 1541)

平成 29 年 3 月期第 2 四半期業績予想値と実績値との差異及び  
 平成 29 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期第 2 四半期業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期通期業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想値と実績値との差異 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

|   | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 親会社株主に帰属<br>する四半期純利益 | 1 株当たり<br>四半期純利益 |
|---|--------|-------|-------|----------------------|------------------|
|   | 百万円    | 百万円   | 百万円   | 百万円                  | 円 銭              |
| 前回発表予想 (A)                                | 15,800 | 170   | 130   | 0                    | 0.00             |
| 実績値 (B)                                   | 23,496 | 349   | 320   | 105                  | 0.36             |
| 増減率 (B-A)                                 | 7,696  | 179   | 190   | 105                  |                  |
| 増減率 (%)                                   | 48.7   | 105.3 | 146.2 | 0                    |                  |
| (ご参考)前期第 2 四半期実績<br>(平成 28 年 3 月期第 2 四半期) | 16,277 | △148  | △176  | △278                 | △0.96            |

2. 平成 29 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

|                             | 売上高    | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|-----------------------------|--------|------|------|---------------------|-----------------|
|                             | 百万円    | 百万円  | 百万円  | 百万円                 | 円 銭             |
| 前回発表予想 (A)                  | 33,000 | 410  | 340  | 30                  | 0.10            |
| 今回修正予想 (B)                  | 47,700 | 470  | 410  | 110                 | 0.38            |
| 増減率 (B-A)                   | 14,700 | 60   | 70   | 80                  |                 |
| 増減率 (%)                     | 44.5   | 14.6 | 20.6 | 266.7               |                 |
| (ご参考)前期実績<br>(平成 28 年 3 月期) | 29,188 | △204 | △271 | △483                | △1.67           |

### 3. 差異及び修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主力の貴金属事業の金地金の取引高が増加したことにより82億6千万円、都内不動産物件の売却により2億1千万円、東京金先物取引による運用益及び評価益を計上したことにより1億2千万円、それぞれ売上高が当初見込みを上回ったことが寄与し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益において、当初予想値を上回りました。

なお、通期の連結業績予想値につきましては、貴金属事業において引続き金地金の取引高は堅調に推移すると見込まれるものの、米国の政策金利の引き上げ観測や為替相場等の影響により、国内金、白金価格の価格変動リスクに晒されていることに加え、宝飾事業においても、インバウンド需要の減速、国内個人消費の本格的な回復が見込めない等、依然厳しい状況下にあることから、上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表時において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なることがあります。

以上